#### 非営利活動任意団体CCC 会報 NO.7 2015 年10月

### ご挨拶

爽やかな季節になって参りました。今年の夏は異常な暑さとその後の不安定な気候、台風から派生した豪雨、 列島各地での火山の活動の活発化に日本各地が様々な被害に遭って参りましたが、皆さまにはいかがお過ご しでしょうか。

東日本大震災が発生してから4年半が過ぎました。この間、日本各地にまた新たな自然災害が出来し、被 災地のご苦労に心を痛めることがつとに多くなったこの頃です。

ご承知のように、2011年3月以降にスタートした私どもCCCの福島復興支援は、現在では、今も避難生活が続く飯舘村の皆さまを対象とした「こころのケア」に絞り込んでの活動となっております。避難という非日常がこの4年を超える日々の中でそのお暮らしを大きく変化させ、それが日常となって元気でお過ごしの方々も少なくありませんが、そのお暮らしの中でも様々なご苦労があり、また未だに仮設住宅で不便を託ちながらお暮らしの方々も居られます。そのような中で、CCCは折に触れ現地を訪問することで実際に見聞きすることから、その変化を垣間見、その折折に必要だと考えられる方法を取り入れての活動を実施して参りましたが、さらに新たなところに伺うことになりますと、また新たな活動の形を考えさせられるといった試行錯誤を続けて居ります。

本年度は、当初から継続している、幼稚園児の観察と生育の問題の把握と対策を保護者の皆さま、幼稚園の先生方、行政の皆さま方とのご相談・アドバイスといった活動のほかに、未だ仮設住宅でお暮らしの方々へのケアも開始致しました。改めて医療の専門的意見が役に立つことを感じております。

今年度も、会員の皆さまからの会費、ご寄付、活動ご協力を頂戴し誠にありがとうございます。そのお気持ちをいただき、頑張らねば!との想いを新たに致します。一方、東日本大震災支援としての活動への公的助成金はほぼ打ち切られてきている状況にあり、先号でもお願い申し上げましたが、現在の会員の皆さまには今後とも変わらずご支援頂きたく、日頃への感謝を持ちつつ改めてお願い申し上げる次第です。

末筆ながら、お寒い時期に向かいます折、皆さまのご健勝をお祈り致します。

平成27年10月吉日

感謝を込めて CCC代表 出口貴美子



∞ CCCをご支援ください ∞ ~事務局からのお願い~

この活動は皆さまからのご寄附で成り立っております

まだ更新して居られない会員様には会員更新いただき継続したご支援を賜りましたら幸甚に存じます

賛助会員 1口 1,000 円(1口から何口でも!)

会 員 年会費 10,000 円

(振込先:十八銀行 大村支店 普通預金1045920 口座名義 シーシーシー) CCCのHP(http://www.cocoro-cc.com/)に会員申込頁を設けました ご友人等CCCの趣旨や活動ををご紹介いただき ご案内願えれば尚有り難く存じます



#### 非営利活動任意団体CCC 会報 NO. 7 2015 年10月

## ♥♥平成27年度 上半期(2015年4月~2015年10月)活動ご報告♥♥

#### ♡平成27年6月9日(火)相馬大野台第6応急仮設住宅訪問 訪問者 副代表 井上健 理事 佐藤哲也 飯舘村保健師 八代千賀子氏

相馬市は飯舘村の北東側に隣接し、現在、約280名が生活されている。 地理的に福島市から離れているため、頻繁に訪問することが出来ず行政としても留意している仮設です。

午前中は集会所で、定期的に行われている関係者間の連絡会へ参加し、現在問題になっているケースの 情報を共有した。今まで精神疾患で通院されていたが、中断したケース、仮設住宅という特殊な環境下 で、様々な症状が悪化したケース、それぞれ今回の震災、避難生活より影響を受けたと思われる事案でし *t*= ^

午後は仮設住宅の個宅訪問をしました。放射能汚染問題は永遠の課題だと改めて現実的に考えさせられ るお話しも伺いました。、仮設住宅の住環境は皆さまもご承知のように様々な問題を抱え、それによるい くつかの受診が必要と思われるお話も出ましたので、そうした状態の村民の方には病院での受診やその際 にお伝えすべき内容へのアドバイス、日常生活の際の留意事項など専門家としてのアドバイスが出来たか と思います。

プライバシーは保たれているとはいえ、思わぬ避難生活、それも仮設住宅での生活は、各個の距離感、 人間関係など複雑にならざるを得ません。私どもも直接お宅へ伺うと警戒されることも多く、本音を聞け ないことは多々あるようで、立ち話や集会所での雑談の中から解決のヒントを見つける等工夫が必要だと 感じます。



飯舘村の広報誌「道しるべ」にCCC代表の 出口貴美子医師が寄稿しました。

また、CCCが最も注力して活動している場、飯舘村立 草野・飯樋幼稚園の鈴木副園長のお話も「道しるべ」 に登場、ご了解をいただいて転載させていただきまし

# ☆避難の中だからこそ 豊かな力を養いたい 草野・飯樋幼稚園 副園長 鈴木美智子先生

非難の2年目からは、仮設とはいえ広い園庭をもつ独立園舎となり、子ども達は のびのびと過ごしています。また、様々な公演や体験活動の試演、近隣の園との交流 なども続いています。



震災前と比べると自然に触れる機会や環境が限られているので、できるだけ自然に目をむけさせたり、 自然体験ができるよう意識して取り組んでいます。この時期の実体験はとても大切。他にも親子行事や祖 父母らと触れ合える行事、太鼓の練習などにも力を入れています。また、避難生活の中で、ゲームやテレ ビ視聴で過ごす時間が長くなっていることも考慮して、運動機能を高める「運動あそび」や体操、絵本に 親しむ「絵本タイム」などを日々の生活にとり入れています。 ・・・・「道しるべ」記事より抜粋







# 飯舘村広報誌「道しるべ」に寄稿しました

#### 「聞く環境」を大切に 幸せな時間を

震災から4年、飯舘村の自然いっぱいの環境とは異なるかも しれませんが、子ども達の笑顔はいつも明るく、元気いっぱい |に、のびのびと成長をしている姿を拝見しています。

子ども達は、保護者や教師など身近な大人と共にいる中で、大きな安心を確 保します。その上で、あらゆる楽しい体験が、発達過程の脳の中に刻み込ま れ、心豊かな人間として成長をしていく基礎を作ります。

今、子ども達に必要なものは、「聞く環境」です。しずかな環境で、お 院・院長。CCC (Cocoro 互い目を見て、しっかりと伝え、それを「聞く」。そういう環境を小さい時 に作る事がとても大切です。家庭ではまず、テレビを消して、一緒に楽しく 夕食の時間を過ごし、一緒にお風呂に入ってスキンシップをして、絵本を読 んであげながら、安心して眠れる環境作りを目指してください。そうすると きっと、親子共に笑顔が増え幸せな時間を一緒に過ごすことが出来ますよ。



出口先生(右) 長崎県大村市の出口小児科医 Care forChildren) 代表とし て被災地の子どもたちを支援 しています。英語の絵本の読 み聞かせのために村の幼稚園 に長崎県からやってきてくれ たKaiさん(左)と一緒に。 (道しるべの紹介記事)

# ♡10月2日(金)◇飯舘村立草野・飯樋幼稚園 での活動 ◇村役場、仮設住宅訪問 における活動

※今回は幼稚園訪問組と仮設住宅訪問組に分かれて活動してきました。

#### ◇飯舘村草野飯樋幼稚園の訪問。

訪問者:代表出口貴美子医師、長崎県大村市国際交流プラザ Dirksen Kai Pence氏、理事星田啓子

出口代表の地元、長崎県大村市の国際交流を担当している職員、kai (カイ→海) さんが、大村市でも成 功している、子どもたちへの英語の絵本の読み聞かせ活動を実施。飯舘村の広報担当の方や健康福祉課の大 河原さんも加わっての訪問となりました。

午前9時45分に幼稚園に到着。鈴木副園長から子ども達の近況を伺い、その後、 4歳児で気になる数名のお子さんの診察を行いました。

10時45分よりKaiさんの英語の絵本の読み聞かせを30分行った。園児たちはひと 月に一度程度ではあるものの、ネイティブの英語の先生をお呼びして英語に触れ る、という教育を既に行っていると伺いました。そのおかげもあったでしょう、 子どもたちはKaiさんの明るく子どもが大好きなお人柄がわかるのでしょう、会っ



た瞬間からKaiさんの周りを取り囲むようにして馴染んでいました。読み聞かせが始まると、Kaiさんのエネ ルギッシュでユーモアたっぷりな演技と言葉に興奮気味に反応し、体を動かし、英語を耳と体でとても楽し く体験していました。、参加したCCCメンバーも幼稚園の先生方も一緒に楽しんだことはもちろんです。

昼食(ドライカレー、サラダ、しいたけスープとぶどう)は、子ども達と共にしながら子ども達の様子を観 察しました。配膳の係の子どもたち、それに感謝する子どもたち、たまに入る私どもへの「給食の先輩」と しての様子はほんとうに微笑ましいものです。









#### 非営利活動任意団体CCC 会報 NO. 7 2015 年10月

#### ◇10月2日 村役場で健康福祉課において把握している問題事例に関する事例検討会

検討会でのスーパーバイザーと仮設住宅への訪問。 訪問者:副代表 井上健医師 理事 佐藤哲也医師

9:30役場に到着です。

育児に関して問題のあるケースに関して、その支援に当たっている 飯舘村と福島市の担当者との連絡検討会に出席し、専門的な立場から のアドバイスを行いました。



対応が困難なケースに関しては、飯舘村と福島市という異なる自治体の現場担当者が連携して情報 共有、特殊で困難な状況にある住民への援助を行っているとのことでしたが、その中で我々の専門的な 意見を役立てることができたと思います。

今後も継続的なアドバイスが必要なケースと思われるので、引き続き支援を継続する予定です。

午後からは、その日に訪問要請のあった仮設住宅に住む村民など2件について、保健師とともに訪問 し、健康相談などについて傾聴しました。同時に、仮設住宅の管理人の話も聞き、仮設住宅に残されて いる村民の状況について認識を深めてきました。

現在、飯舘村は帰村に向けた取り組みを村全体で行っており、また若く経済力のある村民は、新たに住 居を購入し、そこで新たな生活を始めています。一方で、仮設住宅に住み続けている村民は、そういっ た「次の一手」からは取り残されつつあり、新たな「取り残され感」が顕在化する状態が生じている様 子が癌じられます。変化する生活環境の中で、支援の必要性も依然として実感されたことでした。

#### 幼稚園の運動会・・・飯舘村の広報誌 「いいたて」からの抜粋です。



## 非営利活動任意団体CCC 会報 NO. 7 2015 年10月

飯舘村役場調べの 2015年10月1日の村民のみなさまの避難状況をお報せ致します 仮設住宅は9か所。まだ1000名近い方々が居住して居られます CCCはこの一覧にある仮設住宅に居住される方々へのこころのケア活動も継続して参ります

#### 2015-10-01現在の避難情報

	都道府県名	避難人数	避難戸数
1	北海道	39	18
2	青森県	3	
3	岩手県	3	
-4	宮城県	57	3
5	秋田県	5	
	山形県	28	10
7		16	4:
	栃木県	47	2
9	群馬県	10	
10	埼玉県	75	4
11	千葉県	25	2:
12	東京都	25 62 61	4
13	神奈川県	61	3
	新潟県	21	3
	山梨県	3	
16	長野県	3	
17	岐阜県	1	
18	静岡県	. 11	
19	愛知県	1	
20	三重県	6	
21		5	
22	大阪府	2	
	岡山県	5	
	広島県	6	
25		1	
	佐賀県	1	
	鹿児島県	1	
28	沖縄県	3	
29	国外	4	
	県外計	505	30

made statis	
AS NH	11 1
21,104	

# 県内施設別避難者数

	施設名	避難人数	避難戸数
- 1	伊達東仮設住宅	144	90
2	旧飯野小仮設住宅	68	31
3	旧明治小仮設住宅	50	25
4	国見·大木戸仮設住宅	15	7
5	国見·上野台仮設住宅	37	18
6	松川仮設第一住宅	174	103
7	松川仮設第二住宅	169	94
- 8	旧松川小仮設住宅	57	29
9	相馬市大野台第6仮設住宅	277	142
	仮設合計	991	539

	施設名	避難人数	避難戸数
1	住宅取得·親族宅等	2,012	722
2	老人ホーム・病院	30	30

#### 飯館村

条内脏難有致	県	Ŋ	避	難	有多	χ
--------	---	---	---	---	----	---

自治	体名	難有致避難人数	避難戸数
1福島市	HTT-14	3,872	1,629
2 会津若	松市	22	8
3 郡山市	120.11	69	43
4 いわき	市	17	15
5 白河市		1	15
6 須賀川	市	6	2
7 喜多方	市	15	5
8 相馬市		428	200
9 二本松	市	80	35
10 田村市		17	8
11 南相馬	市	402	195
12 伊達市		584	288
13 本宮市	i	12	7
14 桑折町		6	3
15 国見町		61	29
16 川俣町		518	204
17 大玉村		14	3 3 1 2
18 鏡石町		4	3
19 天栄村		1	1
20 下郷町		2	2
21 南会津	町	1	1
22 北塩原	村	1	
23 猪苗代	町	9	3
24 二馬町		- 1	1
25 会津美		1	1
26 西郷木		8	2
27 中島村		6	
28 矢吹町		1	2 1 1 2 2 4
29 玉川村		2	2
30 三春町		5	2
31 小野町		5	4
32 広野町		1	1 5
33 新地町		8	0.700
県内小	AT	6,180	2,706
飯舘村	内	55	51
<b>期以10日十</b>	PI	55	01

飯舘村内	55	51
県内合計	6,235	2,757

<b>台胞以</b>				
	施設名	避難人数	避難戸数	
1	公的宿舍	354	139	
2	借上住宅	2,793	1,276	
3	いいたてホーム	41	41	
	合計	3,188	1,456	

未	建難	
	未避難人数	未

#### 非営利活動任意団体CCC 会報 NO.7 2015 年10月

#### 【今後もCCCは活動を継続して参ります】

時を経るに従い、震災に関連する諸問題は、深く個人の生活や地域の特性に関連した個別の問題に なってきています。それはともすれば共感してくれる人がいなかったり、あるいは報道など 表面には現れてこないプライベートな側面が大きい問題であったりもします。

また避難生活が長くなり、小さなこども達は既に避難生活の方が長く、村での生活の記憶は ほとんどありません。この子らの心の故郷はどこになるのでしょうか。

目には見えない、測定器でも計れない問題が、まだ山積みです。

そんな中でも日々元気に育っていくこども達の成長を見守ることが私たちCCCに出来ることと考え 引き続き活動を行って参ります。

#### •••CCC 2014度活動記録 (平成26年4月~平成27年3月)・・・

#### ♡6月19日 飯舘村立 草野飯樋幼稚園 園児観察及びアドバイス

・・テレビ放映されました/福島中央テレビ 当日の夕方福島県地域ニュース・・

・・産経新聞から取材が入りました

翌日の朝刊に掲載されました・・・

訪問者:代表出口貴美子 副代表井上 健 幼稚園児の観察、保護者および教諭からの相談対応業務をしました。

#### ♡7月3日(木)村立草野飯樋幼稚園 祖父母参観日 日本の芸能で遊ぶ

・・テレビで放映されました/福島中央テレビ 当日の夕方福島県地域ニュース・・ 訪問者:竹本弥清太夫(浄瑠璃)、千川貴楽(日舞/千川流家元)

副代表井上健、理事星田啓子

幼稚園としては初めての日本の芸能「浄瑠璃と歌舞伎」を子どもたちと共に楽しみました。



### ♡7月18日(金) 村立草野飯樋幼稚園 終業式と夏祭り

訪問者:代表出口貴美子 副代表井上健

幼稚園の夏祭りで遊ぶ園児の様子の観察。保護者からの相談対応。教諭の方々との方針打合せでした。

♡7月28日(月) 出口貴美子代表が、J-WAVE(HEART TO HEART~WE ARE ONE~)に出演 東日本大震災の被災者の皆さまとそのバックアップのために活動している団体および個人から "現場の今"をテーマとした取材番組に出演。CCCの理念、活動方針、飯舘村の子どもたちの今、 活動状況をお話ししました。

#### ♡10月10日 村立仮設小学校にて生徒さん向けに特別授業を実施

訪問者 代表 出口貴美子 副代表 井上健

『君たちの心が育つために:睡眠がカギ!』と題して、脳を育て、心を育むため、寝ている時に 脳から出てくるホルモンが成長に大変大事な役割をすることから、「質のいい睡眠」を取ることが 大事とお話ししました。

### ♡2月8日 いいたてふれあい村民集会に「こころのケア」ブースを以て参加しました

参加者:代表出口貴美子、副代表井上健、理事佐藤哲也

CCCは第1回のふれあい集会から継続して「こころのケア子育て相談」コーナーを設置しています。

### ♡2月26日 飯館村立仮設幼稚園で海外メディアからの取材

参加者 代表出口貴美子 副代表井上健 理事佐藤哲也 理事星田啓子 震災後4年を目前にして、内閣府が海外メディア(10カ国)のための福島県取材 ツアーを企画し、そのなかでCCCは、園児の親御さんとともに取材を受けました。

